

時事文翻訳添削ノートから

私は毎年授業で時事文翻訳の添削を行っています。翻訳に挑む学生さんたちに具体的な事例に沿って役に立つ情報をご紹介します。

情報 11

中国語では、形容詞といわれる語でもごく普通に動詞の修飾語として動詞の前に置かれます。その場合、辞書は、他の品詞分類を与えたり、説明で済ましたり様々ですが、そういった分類に振り回されず、そういう使い方があるということをしっかり覚えておきましょう。

例えば、情報6で挙げた

重庆地处四川盆地，容易造成水土流失的坡耕地很多。

(重慶は四川盆地に位置し、水分や土壌の流出を招きやすい斜面の耕地が多い)

の“容易”は動詞“造成”にかかっています。したがって、「～しにくい」という場合には“难”が用いられ、“难办”「やりづらい」などといいますが、書き言葉では、よく“难以～”としてその後ろに2音節の動詞を導き、全体として4音節になって格調を高くする工夫も行われます。

情報 12

“组织”の落とし穴

なるほど、学生はこういうところに引っかかるのか、とこれは添削していて気がついたこと。国連などの組織はよく“世界卫生组织”「WHO」と訳しますが、“组织”は動詞としてもよく使い、組織することを“组织起来”などといいます。主語と他の動詞との間に“组织”があるとき、どちらに寄り添う“组织”か、よく見極めましょう。